



令和7年12月  
定例会

# 美作市 議会だより

第  
**17**  
号

令和8年2月20日  
発行

## おもな内容

- 議会の動き..... 2
- 一般質問..... 3
- 議案等審議結果..... 8
- 委員会報告..... 9
- 市議会からのお知らせ..... 12

## 議会の動き

### ～旧県立江見商業高等学校の跡地利用に関する要望書を岡山県に提出～

地域の長年の課題である旧江見商業高等学校跡地利用について、令和8年1月27日付で岡山県知事及び岡山県教育委員会教育長に対し要望書を提出しました。要望の概要は次のとおりです。

旧県立江見商業高等学校は平成21年に県立林野高等学校との統合によって閉校となり、17年が経過しようとしています。この跡地については、いくつかの活用策を岡山県と協議してきましたが、未だに有効活用は実現していません。しかしながら現在、跡地の活用について本議会としても積極的に進めるべきとの意見が高まり、さらに地元作東地域からも早急な有効活用を望む声が大きくなっています。

現在の課題は、土地・建物の譲渡に伴う既存建物の解体撤去にかかる多額の費用が見込まれています。このことは、少子高齢化が進む中で安定した行財政運営と行政サービスの充実に努めている本市にとって、大きな財政的負担を強いられるもので、市議会としてもこの問題を非常に憂慮しています。

以上のことから、解体撤去費用に係る財政的負担の軽減を要望いたしました。

旧県立江見商業高等学校の跡地利用に関する要望書を提出



▲ 左: 安藤議長、右: 岡山県総務部長



▲ 左: 安藤議長、右: 岡山県教育委員会教育次長

### ～議員報酬の見直しに向けて～

全議員で構成する議会改革特別委員会において、約20年間据え置かれていた議員報酬について見直しを行うことを決定しました。この決定を受けて、議長から市長に対し、議員報酬の適正化を求める要望書を令和7年12月24日付で提出しました。要望の概要は次のとおりです。

本市の議員報酬は平成17年の改正以降、見直しが行われていません。一方で、その間に議員定数を10名削減し、削減によって生じた財源は、財政の健全性維持や市民サービス向上に活用されてきたと認識しています。

市議会議員の活動は、会議・審議・資料作成・現場調査・住民対応等、長時間かつ多岐にわたります。また、時代の変化とともに広範囲に及び、新たな時代に向けた成長戦略など専門的知見が求められる分野も増えています。議員活動に専念できる環境を確保するため、活動の対価と職責にふさわしい報酬額が求められています。



▲ 美作市議会の議員報酬の見直しに関する要望書を提出  
(左: 安藤議長、右: 萩原市長)

議会では、令和4年5月より議会だよりの発行を開始し、議会DXの導入や、市民意見を政策提言へ反映させるための意見交換会の開催等について、今任期中の早期実現へ向けた議論を深めています。適正な報酬への見直しは、議会活性化に向けた責務を各議員が自覚することとなり、議会活動の見える化について断固たる決意を持って取り組むこととなります。

以上のことから、美作市議員報酬及び特別職給料等審議会へ諮問し、客観的かつ総合的な判断を得ることとし、現在の議員報酬月額を岡山県内12市(岡山市、倉敷市、美作市を除く)の平均報酬月額を基準にした引き上げを要望いたしました。

# 一般質問

◆一般質問については、各質問者が投稿したものであり、文責は質問者にあります。  
◆12月定例会の一般質問発言順に掲載いたします。  
◆各議員の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の様子(録画映像)を見ることが出来ます。



なかやま ただあき  
**中山 忠明**



## ◆林野駅周辺の整備について

**問** 林野駅周辺に駐車場を整備する考えはあるか。みまさか観光局を駅舎内に設置後、どのようにになるのか。

**答** 駐車場については、駅北側の彩葉茶屋周辺の再開発と併せて、整備を検討する。みまさか観光局は、美作市の観光情報を集約し、その発信拠点としての役割を担う。そのため、現在行っている旅行の手配業務に加え、民間の旅行関係者等の訪問が増えることが予想される。

**市長答弁** 林野駅は美作市の玄関口であり、特に通学利用

において重要な駅である。市街地再開発に関する国の助成を都市政策として活用しつつ、周辺整備を進めていきたい。バスやタクシーの駐車場も含めた総合的な交通体系を踏まえ、交通計画の中で林野駅の今後の方向性について議論していく必要がある。



○他の質問「美作市中谷にある国指定の重要文化財『林家住宅』について」、「観光局のその後」、「美作市栄町の旧美作市庁舎跡地の整備後、地域の皆様に対しどのように応えるの

か」、「美作市中山地区に作った駐車場についてたずねる」、「美作インター隣接のもうもう工房跡地整備について」



かんばら かずとし  
**神原 一寿**

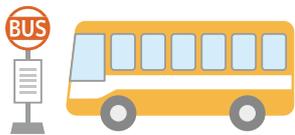


## ◆スクールバス停、通学路の安全性について

**問** スクールバス停の表示を一目で認識できるよう統一デザインに更新する予定はあるか。通学路の横断歩道の有無や白線が薄い箇所に対応について。

**答** 現時点でバス停表示の更新予定はない。白線の改修は、真っ白白線事業を通じ対応している。

通学路の安全確保では、防犯・防災面も含め、学校や警察、県・



市の関係機関と協議し、合同点検を実施し、必要な対策を進めている。

## ◆消防団について

**問** 団員数の推移、車両の更新、人口減少・高齢化が進む中での操法大会の在り方について。

**答** 団員数は年間20人から30人の減少傾向にある。車両更新は要望を精査し、優先順位を決定し予算計上している。操法大会は、団員の負担軽減を踏まえ、組織再編の必要性や大会方式から選抜方式への移行を検討する。



わだ いさお  
**和田 いさお**



## ◆鳥獣害対策について

**問** 豚熱に感染したイノシシの処理方法は。ヌートリアは獣肉処理施設で処理できないか。



マスタープランについて」、「防犯カメラ設置に関する取り組みについて」



しま  
島 いったつ



◆市内における熊の目撃情報と対処法について

問 近年の目撃件数とその状況、目撃時の通報先について。猟友会との協議で、担い手不足の懸念や狩猟免許更新料の補助等、経済的支援の要望が出ていないか。熊と人との境界線を引き直すため、放置果樹の伐採支援制度はあるか。

答 今年度は10月末現在、熊と断定される通報が13件あり、例年より少ない状況。熊を目撃した際は、市役所まで連絡いただければ、森林政策課が対応する。猟友会とは分会長会議を年3回実施。会員減少の

話題は出て

いるが、狩猟免許更新料の補助を

求める要望

は上がって

いない。放

置果樹への対応は、県が誘引物除去等の支援制度を設けており、指導員による不要果樹の伐採や幹へのトタン巻き等の支援が行われている。市でも本制度の周知を図っていく。



にしむら  
西村 たいじ



◆英田地域の高齢者福祉について

問 英愛センターのデイサービス・訪問介護が令和7年度末で撤退する。指定管理者の応募者もなく、令和8年度以降の介護空白が懸念される。市は英田地域の高齢

者に対するサービス体制をどのように構築するのか。具体策、移動手段の確保、市独自支援の対応について考えを問う。

答 美作地域の既存事業所が英田地域へサービス提供することが最も現実的である。英愛センター現利用者に対する今後のサービス調整は、ケアマネージャーが進めている。介護空白が生じた場合は、近隣事業所によるサービス継続確保が重要であり、通所介護の送迎支援等、事業所運営を支えるための市独自支援策の必要性は認識している。採算性の低い事業所に社会福祉協議会が参入することとは検討していない。



○他の質問：「地域防災体制の実効性と個別避難支援のあり方について」、「地方公営企業の会計について」



あおやま  
青山 けい



◆特産館みまさかの経営理念と美作市の評価について

問 経営状況をどう評価しているか。経営理念に着目すると、近年の新規就農者の増加を踏まえ、市内農業者とのコミュニケーション強化や農業者の育成支援が課題の一つと考えるが、市の考えは。

答 前期売上高を更新し、過去最高を記録したことから高く評価している。市としても、市内農業者の生産意欲、やる気、人材育成の部分で彩菜みまさかに対し提言していきたい。



◆高市新政権と美作市の関係について

問 高市新政権と美作市の関係をどう構築していくのか。また市政への影響は。

答 市長答弁：官邸の政務秘書官とはこれまでの関係を活用し、地方としての見方等を意見交換した。この関係は今後も活用できる。県内外で志を同じくする自治体との関係を強化し、高市政権に対し共同で要望していくことが有効と考える。



すなみ よしお  
角南 良雄



◆美作市の最重要政策について

問 財政状況については、実質的な債務がゼロであり、借金に基金を充当しても47億円残るような健全な状況である。地域の不安や課題も把握されて

いるように感じる。社人研の令和22年の人口推計値が約1,400人上方修正されたが、10年以上先を見越した政策について尋ねる。

答 市長答弁：基本的な考え方は、人口減少の流れを早期に反転させる都市経営を行うことである。人口減少や高齢化により生じる市民生活の痛みを軽減するため、市費を投じ市民生活を守っていく。山間部を抱える本市には、国家プロジェクト的な産業が立地できる可能性があり、立地体制を整備し、実現に向け追求していきたい。単に縮小を受け入れるのではなく、あらがう姿勢で努力を継続する。



○他の質問：「財政状況等について」、「市内各地域（大字）の状況及び課題について」

◆道の駅彩茶屋について

問 駐車場の拡大による経営戦略への影響は。道の駅と林野駅が連携した取り組みは考えているか。



しんめい まさのり  
新免 まさのり



答 駐車場の拡大により、県道沿いから店舗が目に入りやすくなった。



そのため、看板のリニューアルとトイレ棟への案内看板設置を計画している。市役所から湯郷温泉までの沿線が今後発展する可

能性を鑑み、林野駅と道の駅を結ぶ方策を研究する。

◆産業政策について

問 企業誘致にも重要な美岡道の北部延伸の状況と、企業誘致に対する市の取り組みを尋ねる。

答 北部延伸の実現に向け要望活動等、積極的に取り組んでいる。実現すれば、岡山圏域や鳥取圏域、周辺市町村の活性化と経済効果が期待される。県の支援を受け、産業用地の活用可能性や新たな候補地等の調査を進め、企業誘致力を高める方策を検討している。



○他の質問：「教育施設での環境について」、「バレンタインパーク作東について」



やまもと まさき  
**山本真樹**



◆大原地域ショッピングセンター閉店跡地活用について

問 閉店した跡地を公設民営の複合施設として再整備し、地域住民が安心して暮らし続けられる環境を確保するよう会派として要望しているが、市として取り組む姿勢はあるのか。単なる小売店の誘致だけではなく、複合施設整備の提案に対する考えは。

答 跡地へのドラッグストア等の誘致は、積極的に接触を図っているが、十分な成果には至っていない。誘致が実現するのであれば跡地活用にこだわる必要はないと考えている。複合施設整備の提案については、地域住民のニーズを反映し、住民生活の質の向上を図るものであれば、取り組む必要はある

とは考える。ただし、実現には多くの課題をクリアする必要があるため、地域や関係者、議会の意見を伺いながら検討を深めていきたい。



○他の質問：「学校給食センター整備について」、「定住支援につ



うねめよりえ



◆J・クレジットの活用について

問 J・クレジット(二酸化炭素の排出削減・吸収量をクレジット)として国が認証する制度)の活用は、新たな財源を生み、地域活性化に寄与すると考えるが、本制度の長期的展望は。

答 森林経営活動での活用は、想定される活動面積では計画策定に要する経費を賄えず、断念した実績がある。認証取得までの手続きが煩雑で高額な申請費用等、課題が多い。農業分野におけるもみ殻炭利用も本制度の対象だが、適用条件が厳しく、実施可能性は低いと考える。

市長答弁：森林分野では、コスト削減と森林面積の拡大が両立すれば、本制度の実現可能性は高まる。将来を見据えて整備を進める。農業分野では、本制度よりも商品価値を高める観点から、炭素の活用を進めてはどうかと考える。



○他の質問：「LED照明の導入について」



わだ ひろふみ  
**和田広宣**



◆健康寿命を延ばす取り組みについて

問 令和2年度から集団検診を中止し、個別検診へ切り替えた結果、特定健診・がん検診共に受診率が低迷しており、早期発見を見逃す可能性を危惧する。早期に集団検診の再開を要望するが、市の考えは。

答 市長答弁：市民の健康増進のため、今後どの水準まで受診率を上げていくかという目標を明示したうえで、集団検診の再開も含めた必要な支援策の方向性を示す必要がある。早期にその方向性を提示できる日が来るの見込んでい



◆市民の政治参加の機会確保について

問 公共交通が通っていない過疎地を考慮し、車両による巡回型の移動期日前投票所を導入すべきと考えるが、市の考えは。

答 投票機会を提供する重要性は認識しているが、人的負担、職員配置、財政的負担等、現実的に対応可能な範囲で模索していくべきと考える。

○他の質問：「公共施設の建設計画について」



◆美作市の医療、福祉について

問 勝田地域では医療空白が生じるなど、高齢者や交通手段を持たない住民にとって十分な医療が確保されていない。美作市

の医療、福祉について今後どのように取り組むのか。

答 勝田地域における医療空白に対応するため、兵庫県内の社会福祉連携法人と協議を開始し、検討を進めている。医療体制を確保する上で最も重要な課題と位置づけているのは、安定的な医師の確保である。県全体で医師不足が深刻化する中、本市では限られた人的資源を最大限活用するため、医療機関や県内の大学病院等との連携をさらに強化し、地域医療を支える基盤強化に努めている。引き続き、市全域の医療提供体制の実情を的確に把握しながら、関係者と密に連携し、柔軟かつ適切な方策を講じていく。

○他の質問：「公共交通などの維持拡充等の取り組みについて」、「萩原市政の総括について」



審議結果 12月定例会

賛否が分かれた議案等の採決結果

議員名	審議結果	うねめよりえ	島いつたつ	中西竜太	神原一寿	山本真樹	新免まさのり	角南良雄	西村大司	和田いさお	青山慶	和田広宣	中山忠明	山本雅彦	鈴木悦子	西山正志	安藤功	
議案第88号	美作市作東老人福祉センターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
陳情第4号	猛暑期間における2キロ圏内児童のスクールバス利用許可に関する陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	1. 気象庁が「猛暑日」と定義する気温35度以上の日、または夏季(概ね6月～9月)の期間中において、通学距離2キロ圏内の児童にもスクールバス利用を許可する特例措置を設けていただきたい。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議
	2. 児童の熱中症予防および安全確保の観点から、スクールバス運行規定の改正をおこなっていただき、気温・暑さ指数等に応じた柔軟な通学手段の選択を可能とする運用指針を検討していただきたい。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議
3. 市内全小学校区にて登下校時の熱中症対策としてスクールバス運行に取り組んでいただきたい。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議	

●賛成：○ 賛成でない：× 除斥：除 退席：退 欠席：欠 議長：議（議長は表決に加わりません。）  
●賛否状況は、議員の申告等に基づいて作成しています。 ●他の議案は全会一致で可決しました。

決算特別委員会の報告 令和6年度決算を認定

委員長…西山正志 副委員長…中山忠明 委員…全議員  
10月6日、8日、10日に決算特別委員会を開催し、一般会計、特別会計7件、公営企業会計3件の審査を行い、全会一致で、すべての決算について認定しました。

# 総務産業建設委員会の報告

委員長 新免まさのり 副委員長 中山忠明  
委員 山本真樹、角南良雄、和田いさお  
山本雅彦、鈴木悦子、安藤功

12月3日開催【議案11件】

議案第78号 岡山市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山市町村総合事務組合規約の変更について【可決】

岡山県中部環境施設組合の解散に伴い、岡山県総合事務組合から当該組合の脱退及び備南競艇事業組合の名称変更により変更するもの。

議案第80号 美作市農業生産性基盤強化条例の制定について【可決】

基本理念を定め、農業関係者の役割を明確化し、農業生産の持続的な発展に必要な施策を推進するため、新規に制定するもの。

議案第81号 美作市附属機関設置条例の一部を改正する条例について【可決】

既に責務を終えている委員会の削除に伴い改正するもの。

議案第82号 美作市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について【可決】

育児や介護のための両立支援制度の拡充に伴い、早出遅出勤務を導入するため改正するもの。

議案第84号 美作市火災予防条例の一部を改正する条例について【可決】

林野火災注意報等の内容を追加するもの。

議案第85号 市道路線の認定について【可決】

入田地内1路線、奥地内1路線を市道に認定するもの。

議案第92号・93号 指定管理者の指定について【可決】

令和8年4月1日から、美作市獣肉処理施設を(株)英田エンジニアリ

ングに5年間、あいだ館を英田館出荷協議会に5年間指定するもの。

議案第94号 令和7年度美作市一般会計補正予算(第3号)総務産業建設委員会所管分【可決】

民間路線バス運行費補助金9,366千円、特定空き家緊急応急措置費2,000千円、水利施設管理強化事業補助金1,000千円、中山間地域等直接支払交付金53,352千円、地域活力創生事業雇用促進奨励金4,520千円、地域総合整備資金貸付金310,000千円、屋外拡声器修繕費5,000千円、消防施設整備補助金1,000千円、農地災害復旧費2,500千円を計上。

議案第99号 令和7年度美作市水道事業会計補正予算(第2号)【可決】

人件費を11,716千円の減額、児童手当経費320千円の増額。

議案第100号 令和7年度美作市下水道事業会計補正予算(第1号)【可決】

人件費の減額。

## 主だった議案質疑内容

問 美作市農業生産性基盤強化条例での取り組みについて。

答 美作市は中山間地域であり、国・県の交付金や補助金を活用しなければ非常に厳しい状況である。そこで、農業関係者の役割と市の責務を明確にし、補助制度を最大限に活用して支援をするよう理念条例として定めた。具体的には、農業基金の貸付制度の創設や農業機械導入に対する補助等、必要な財政措置を講じる。販売業者が、事業規模の拡大や品質向上を目的とした機械等の導入費用を補助対象としている。また、小規模農家に対しては、多面的機能支払交付金事業を通じて、地域の農道・水路・ため池等を個人ではなく、共同で維持管理する活動に補助を行っており、農業者の負担軽減に繋がっていると考えている。

# 文教市民福祉委員会の報告

委員長 西村大司 副委員長 神原一寿  
委員 うねめよりえ、島いつたつ、中西電太  
青山慶、和田広宣、西山正志

12月4日開催【議案13件、陳情1件】

議案第79号 岡山市町村税整理組合を組織する地方公共団体数の増加、共同処理する事務の変更及び岡山市町村税整理組合規約の変更について【可決】

当該組合に井原市が加入し、構成団体の増加及び共同処理する事務の変更により変更するもの。

議案第83号 美作市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について【可決】

一般市民等を対象とした粗大ごみ戸別収集に対応するため、粗大ごみ処理手数料を改正するもの。

議案第86号～91号 指定管理者の指定について【可決】

令和8年4月1日から、東粟倉ふれあいセンターを東粟倉ふれあいセンター協議会に3年間、大原

25,680千円の減額、医師派遣負担金1,800千円の増額等。

議案第96号 令和7年度美作市介護保険特別会計補正予算(第2号)【可決】

議案第97号 令和7年度美作市老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号)【可決】

非常用発電設備工事の中止により43,726千円の減額、給食材料費2,000千円、居宅介護支援システム更新委託料2,635千円の増額等。

議案第98号 令和7年度美作市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)【可決】

陳情第4号 猛暑期間における2キロ圏内児童のスクールバス利用許可に関する陳情書【採択】

①気温35度以上の日、または夏季期間中は、通学距離2キロ圏内の児童もスクールバスの利用を認めること。②気温等に応じた通学手段の選択を可能とすること。③市内全小学校区で熱中症対策としてスクールバスの運行に取り組みこ

とを求める、これら3項目の陳情内容。スクールバス運行の主たる趣旨は、児童の安全確保であり、公用車や公共交通機関の活用も考える必要がある等の意見があり、全ての項目を採択とした。

## 主だった議案質疑内容

問 粗大ごみの処理申込手続きが平日のみの対応で、窓口も市役所等に限定されている。電話やアプリの活用、窓口の拡充等、手続きを効率化・簡素化すべきでは。

答 支払方法を含め施行規則については再度検討する。

問 非常用発電設備工事を実施しない場合、施設利用者の安全管理体制に問題は生じないのか。

答 当初予定していた発電機は高圧電力を賄うもので、低圧電力は蓄電器等で補う。施設基準は満たしており、法定点検も行っている。

問 他の質問：指定管理施設の業務内容や委託期間の考え方について

# 文教市民福祉委員会 所管事務に関する中間報告

11月4日、12月4日に文教市民福祉委員会を開催し、市からの報告を受けましたので、概要を次のとおりお伝えします。

## 【給食センターについて】

市は、現在の給食センター3施設(美作・英北・作東)がいずれも老朽化(築後28から30年)していることから、3施設を統合して新たな給食センター1施設に新築移転する案を検討しています。候補地として、作東診療所、作東老人保健施設を含む長寿センターを解体し、その跡地に新たな給食センターを建設する計画が示されています。

市有地を優先して検討が行われ、友野、朽木、藤生周辺の民有地(圃場等)も検討したものの、面積不足や学校までの距離、所有者事情などのため断念した経緯があると説明を受けました。老人保健施設の入所者数が減少する中、施設規模の縮小は妥当と考えられ、その結果土地が空くため、市有地の有効活用が合理的との見解です。

給食センターに必要と想定される面積は概ね5,000㎡との説明がありました。当初は9年度中の竣工を想定していましたが、候補地選定に時間を要したことから計画が後ろ倒しとなり、現計画では12年度の運営開始を見込んでいます。

給食センターは老朽化に伴い修繕費が増加しており、設備の限界から停止後の即応が困難になる恐れがあるため、早急な整備が必要との説明でした。一方で、給食センター整備と学校再編は密接に関わる事項ですが、学校再編は、地域や保護者、学校関係者の合意形成が前提であり、地域ごとに議論の進捗に差があるため、両者を整合させることは容易ではないとのことでした。こうした状況を踏まえ、給食センターの早期整備を優先する判断が示されました。

また、近隣市町村に給食連携の意向を照会したところ、連携希望は得られなかったとのことでした。

## 【作東診療所、作東老人保健施設について】

作東診療所と作東老人保健施設も老朽化が課題となっており、市は作東診療所を作東中学校のテニスコート敷地に新築移転し、作東老人保健施設は廃止して同敷地の北側駐車場に看護多機能型居宅介護事業所を新築する計画が示されています。

当初の予算段階では、現施設を継続使用する前提で、非常用発電設備を整備する計画でしたが、その後、現施設の状況を勘案して、看護多機能型居宅介護事業所への方針転換を行いました。そのため、施設規模の縮小により当初予算で計画していた発電設備は過剰な設備となり、補正予算により該当予算は全て削減されています。

なお、作東診療所の建替え計画については近隣の医院に説明がなされている一方で、介護施設には説明ができていない状況です。本計画により地域ごとに介護サービスの差が生じる可能性があるため、市内全体の観点での検討が必要であり、介護保険運営協議会でも議論されるべき事案と認識しています。

給食センター、作東診療所、作東老人保健施設、これら3施設の新築移転、解体は、計画変更や用地確保等、諸々の検討段階の中で、タイミングが重なったものとの説明を受けました。

計画説明の過程では、官が入所型サービス事業から先行して撤退する理由、各施設の耐用年数、児童生徒数の将来推計、給食配送に要する時間、全体事業費の比較検討、候補地として江見商業高校跡地の活用など、様々な意見・要望がありました。

これまでに執行部から説明を受け、質疑を重ねてきましたが、委員会として十分な理解が得られたとは言い難い状況です。よって、今後は議員全員協議会で執行部から再度説明を求め、協議することとしました。

## 請願・陳情について

市政に対して要望があるときは、請願・陳情を市議会に提出することができます。請願書の提出には議員の紹介が必要となりますが、陳情には議員の紹介は必要ありません。議会で受け付けた請願・陳情は、関係する委員会で審査し、本会議で採択されたものは、執行機関に送付いたします。

なお、請願・陳情に記載された個人情報につきましては、本会議での請願・陳情の付託の議事や委員会での審査に用いるほか、請願・陳情の内容等の問い合わせに使用することがあります。また、提出者の個人情報に記載された文書は、本会議や委員会で議員のほか市長その他執行機関の関係職員に配布されます。

議会事務局 ☎0868-72-0922

## 令和8年度 請願・陳情の受付期日

審議する定例会	受付期日
令和8年 6月定例会	令和8年 5月8日(金) 午後5時まで
9月定例会	8月10日(月) 午後5時まで
12月定例会	11月10日(火) 午後5時まで
令和9年 3月定例会	令和9年 2月10日(水) 午後5時まで

※提出期限につきましては、ホームページ、みまちゃんネルデータ放送でもお知らせしています。

## 市議会からのお知らせ

本会議(定例会・臨時会)は、どなたでも見たり、聞いたりすることができます。本会議の傍聴を希望される方は、市役所2階の議場受付で住所・氏名等を記入の上、入場してください。傍聴者には傍聴券を交付します。

市議会の本議会がみまちゃんネルとインターネット(YouTube)でご覧いただけます。  
※インターネットで閲覧できるのは代表質問、一般質問に限ります。  
インターネットで閲覧される場合は、YouTubeで次の内容を検索してください。



岡山県美作市議会公式チャンネル

岡山県美作市議会公式チャンネル

## 編集後記

今回の12月定例会では、一般質問を会期の後半に行うという、これまでとは異なる日程を試みました。本年度9月定例会から導入した一般質問でのディスプレイ活用(モニターによる画像表示)についても、多くの議員が画像を用いて説明し、分かりやすい議論が展開されました。より良い議会となるよう、全議員で議会改革を進めております。市民の皆さまにとって分かりやすい議会に、そして、その議会が身近に感じているだけの議会だよりとなるよう励みますので、引き続きご一読くださいますようお願い申し上げます。寒い日が続きますが、暖かい春を待ちわびながら、お体には十分ご留意ください。皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

(うねめよりえ)

表紙写真撮影者：島いつたつ

議会だより発行特別委員会

委員長 青山慶

副委員長 角南良雄

委員 島いつたつ

委員 中西竜太

委員 山本真樹



本誌は、再生紙と植物由来の油を原料にしたインキを使用し、環境にやさしい水なし方式で印刷されています。

